

## リモージュ滞在記

名古屋工業大学大学院  
セラミックス基盤工学研究センター  
複合機能研究グループ  
M2 今井 智大

### 【はじめに】

私は2009年9月1日から2010年1月15日の間、ITP派遣学生として、フランスのリモージュに滞在し、国立セラミックス工科大学（ENSCI）にて研究を行いました。本レポートでは、リモージュでの日常生活について記述させていただきます。



### 【研究室】

ENSCIはセラミックスを専攻する学生を主として構成されています。私はUS研究室に所属し、「コンニャク石を模倣した曲がるセラミックス」というテーマで研究をしていました。

平日はAM8:00～PM:6:00まで研究、2時間のランチタイム、2時間に1回のコーヒータイムという緩急をつけたライフスタイルでした。

### 【リモージュ】

リモージュは市内から少し行くと、川や森などがあり、自然の多い町であった。また、景色の美しい場所、教会も多くありました。



### 【気候】

リモージュは北海道くらいの気温で、しかし晴れた日は日差しが強く暑く感じる日も多くあった。また12月には氷点下の日も多く、リモージュでは珍しく雪が積もりました。



### 【住居】

住まいはENSCIから徒歩10分ほどにある学生寮でありました。寮は全部で4棟あり、フランス人の他に南アフリカ、北欧からやってきている方が多かったです。

部屋はトイレ、シャワーキッチン共同の約6畳で、実家暮らしが長かった私には慣れるのに時間がかかりまし

た。

### 【食事】

食事は学生食堂をよく利用しました。1食2.9ユーロでサラダ、乳製品、デザート、メイン皿と非常に満足のボリュームでありました。市内のレストランは日本に比べて割高であったため、休日は自炊もしました。また、時には友人とBARなどで交流を深めました。



### 【スポーツ】

体調管理のためスポーツも積極的に行いました。周りにも、お昼の休憩を利用しランニングをする方も多かったです。

大学の体育館では学生ならば無料で参加できるプログラム、例えばヨガ、ダンスなどがあり、私は以前から興味があったウォールクライミングのクラブに参加しました。



### 【交流】

秋には友人らとハロウィーンパーティーに参加し、他国の文化に触れながら国際交流を行いました。



### 【趣味】

趣味のピオラ（楽器）を生かし、姉妹都市演奏会に参加しました。日本の瀬戸を始め五カ国から集まりました。私も日本の代表として国間の交流に貢献しました。

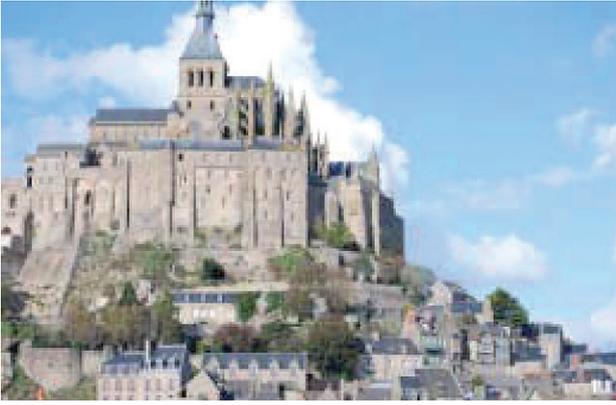


### 【旅行】

休日を利用し、観光地にも足を運びました。10月にはディズニーランドパリに行きました。



11月には教授に休みをもらい、同大学で留学中の友人と世界遺産のモンサンミッシェルに行きました。



また、年末にはイタリアのフィレンツェ、ヴェネチア、ローマに行きました。



ヴェネチア



フィレンツェ

#### 【まとめ】

今回の留学を通して、研究、勉強のほかに多くのことを学びました。特に、文化の違いからの国独自の良さがあります。例えば、フランスでは道で迷っていると声をかけてくれたりするなど、見知らぬ人に対してフレンドリーであること。また今回の留学をきっかけに、他国の良さだけでなく日本の素晴らしさを改めて知ることが出来たのは貴重でありました。

最後に、このような機会を提供していただきました名工大 ITP プログラム、留学に関し様々なサポートをしていただいた太田敏孝教授に深く感謝いたします。